

地球惑星科学関連学会

連絡会ニュース

No. 27

(2002年12月)

- [1] 地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会のお知らせ
- [2] みなさまが主催する IUGG2003 札幌総会
- [3] Goldschmidt2003 日本開催のお知らせ(その3)
- [4] 第 26 回地球惑星化学関連学会連絡会議事録(案)

2003 年は合同大会以降、IUGG2003 札幌総会、ゴールドシュミット国際会議の日本開催が続けて予定されています。特に IUGG の予稿締め切りが1月となっておりますので、御注意ください。

[1] 地球惑星科学関連学会 2003 年

合同大会のお知らせ

地球惑星科学合同大会運営機構

- 目次 -

- § 1 合同大会案内サマリー・各種登録日程、お問い合わせ先、その他
- § 2 セッション案内
- § 3 個人情報登録
- § 4 参加登録、予稿集原稿投稿(料金)、宿泊、変更取消
- § 5 運営機構からのお知らせ(展示・会合のお申込等)

§ 1 合同大会案内サマリー・各種登録日程

- 会期：2003年5月26日(月) - 29日(木)
(5月26日 特別公開セッション「地学教育の展望」)
- 会場：幕張メッセ 国際会議場

●各種受付開始日・締切日：

	受付開始日	受付締切日
予稿集原稿投稿	2003/1/10 (金)	早期〆切：2003/2/14 (金) 24:00
		最終〆切：2003/2/21 (金) 17:00

大会参加登録事前申込		全日程参加： 2003/3/20 (木) 17:00
		一日のみ参加： 2003/5/2 (金) 17:00
宿泊予約	今回はありません。ご注意ください。	

●お申し込み後の日程：

請求書発送	2003/3/末 迄に完了	事前申込者のみ
支払締切日	2003/5/2(金) 厳守	郵便振込
プログラム・予稿集 CD-OM 発送・名札**	2003/5/19(月) 迄に完了	事前申込者のみ

** 名札は5/2 までに振込済の方へ発送。以外は当日渡しです。

●大会ホームページ：

2003 年合同大会に関する情報および各種登録ページが置かれています。

合同大会ホームページ

<http://www.epsu.jp/jmoo2003/>

詳しくは上記のホームページを是非ご覧下さい。変更内容の情報は随時更新します。(変更内容のチェックもお忘れなく。)

●お問い合わせ先：

(問い合わせ先一覧は大会ホームページに掲載されています)

■大会全般■：

(特別公開セッション、展示、予稿集バックナンバー請求等)
合同大会運営機構 事務局

〒133-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学理学部新1号館 719 室
Email: office@epsu.jp
Fax: 03-5800-6839

■各種登録システムサポート■：

(電子投稿に関する質問。どうしても電子投稿の手段が確保できない場合も)

Web システム登録センター

〒530-0001 大阪府北区梅田2-4-9
サンケイビル本館7階 株式会社ジェイコム内
E-mail: reg@epsu.jp
Fax: 06-6456-4105
月～金 9:30～18:00(祝日を除く)

§ 1. 1 各種の登録

以下の登録は全て大会ホームページから行って下さい。

- ①個人情報登録
- ②参加登録(事前申込)
- ③予稿集原稿投稿(講演申込)

●参加される方は全員①、②が必須です。②を行うためには、前もって①が必要です(ただし、既に登録済の方は再度行う必要はありません)。事前申込は当日受付(当日登録)より料金がお安くなっていますので、お勧めいたします。

●講演申込をされる方は①、②に加えて③を行って下さい。共著の場合は、共著者についても①が必要ですのでご注意下さい。当日発表される方も参加登録が必要です。

§ 1. 2 住所変更

プログラムおよび予稿集 CD-ROM は、参加登録申込者のみに 5 月 19 日頃に発送される予定です。

転勤・卒業等で住所変更が生じた方は、Web 上の「個人情報登録」にて、住所変更手続きを行って下さい。

§ 1. 3 保育希望の方へ

合同大会では、保育をご希望されます方へ、会場に隣接する千葉市認定保育施設をご紹介します。(利用時間に応じて実費負担) 詳細は大会 HP にてご確認ください。

§ 2 セッション案内

●講演要旨(予稿集原稿)の投稿

1/10~2/21 の期間に合同大会ホームページ(§1 参照)上で行って下さい。

「合同大会ホームページ」にセッション一覧リストが掲載しておりますのでご参照下さい。尚、それぞれのセッションについての問い合わせは、ホームページにあります各セッションの連絡先へお願いします。

●プログラム編集作業

2 月下旬より行われます。代表コンピーナーの方にご協力をお願いします。連絡が取れますよう日程のご調整をお願いします。また、期間中ご不在の場合は代理の方をプログラム委員会へ、あらかじめお知らせ下さい。

●特別公開セッション「地学教育の展望(短縮名)」の開催

2003 年合同大会では、学校教育における地学教育の現状と展望を議論する場を設けて、教育現場の教師と地球惑星科学分野の研究者間の交流促進をはかりたいと考え、公開セッションを開催します。地学教育問題は教育現場でのみでなく、地球惑星科学の将来を考える上での共通の問題として考えていただき、多くの皆様のご参加をお待ちしております。又、中学・高校の先生方への参加の呼びかけに是非ご協力ください。

開催日時: 2003/5/26 (月) 9:00-15:00 参加費: 無料

お申込・お問い合わせ: 運営機構事務局

■2003 年大会開催セッション一覧■

特別公開セッション:

地学教育の昨日・今日・明日

—地球惑星科学は理科・地学離れを救えるか?—

(短縮名: 地学教育の展望)

—大記号・分類名— セッション名— 主催学会(複数は共催)—
U ユニオン

・計算が開く地球科学の明日

V 火山学

・活動的火山 (火山学会・地震学会・測地学会・地質学会)

・マグマシステムと噴火 (火山学会・地質学会)

・火山爆発のダイナミクス: マグマ噴出の力学と物質科学からのアプローチ

K 岩石・鉱物学

・深成岩とマグマ—その発生から進入固結まで— (地質学会)

・鉱物の物理・化学 (鉱物学会)

S 地震学

・地震に伴う諸現象 (地震学会)

・地震発生の物理 (地震学会)

・地震活動 (地震学会)

・強震動・地震災害 (地震学会)

・地震の理論・解析法 (地震学会)

・地震計測・処理システム (地震学会)

・地震予知 (地震学会)

・地震一般 (地震学会)

・地盤構造・地盤震動 (地震学会)

・震源過程・発震機構 (地震学会)

・地殻構造 (地震学会)

・海溝型地震に対する強震動予測

・陸域震源断層の深部すべり過程のモデル化

・内陸地震発生予測の学問的課題—活断層評価と強震動予測を中心として—

・海底に開く窓—海底での地球科学的な観測手段

H 水文・陸水・地下水学

・水循環・水環境

(水文水資源学会・地下水学会・地球化学会・水文科学会)

・同位体水文学 2003

・沿岸・湿地域の水・物質循環

・水温・水質から探る陸水の流動と循環

D 測地学

・重力・ジオイド (測地学会)

・測地学一般(含、計測技術、地球潮汐) (測地学会)

・地殻変動 (地震学会・測地学会)

・GPS (測地学会)

Q 第四紀学

・第四紀 (第四紀学会)

・“沖積層”の層序区分に関する諸問題

C 地球化学

・固体地球化学・惑星化学 (地球化学会)

・地球環境変化と大気水圏の物質循環

L 地球環境・気候変動学

・古気候・古海洋 (地質学会)

・北太平洋高緯度域における最新の古海洋研究

B 地球生命科学

・生命-水-鉱物相互作用の場の実態

・アーキアンパーク計画：海底熱水系における地圏・生物圏相互作用

E 地球電磁気学

・太陽圏惑星間空間 (SGEPSS)

・宇宙プラズマ理論・シミュレーション (SGEPSS)

・電気伝導度・地殻活動電磁気学 (SGEPSS)

・地磁気・古地磁気 (SGEPSS)

・磁気圏-電離圏結合 (SGEPSS)

・宇宙天気 (SGEPSS)

・電離圏・熱圏 (SGEPSS)

・大気圏・熱圏下部 (SGEPSS)

・磁気圏構造とダイナミクス (SGEPSS)

・地震・火山活動に関連する電磁気現象

I 地球内部科学

・地球構成物質のレオロジーと物質移動

・地球深部ダイナミクス：プレート・マントル・核の相互作用

T 地球惑星テクトニクス・ダイナミクス

・地下温度構造・熱過程 (地震学会)

・テクトニクス (地震学会・地質学会)

G 地質学

・地域地質と構造発達史 (地質学会)

・堆積物・堆積岩から読みとる地球表層環境情報 (地質学会)

・長期火成活動と火山発達史 (火山学会・地質学会)

・放射性廃棄物の地層処分-地層処分問題に

・変形岩・変成岩とテクトニクス (地質学会)

・古第三紀から中期中新世にかけての西南日本テクトニクス

Y 防災・応用地球科学

・地質ハザード・地質環境 (地質学会)

P 惑星科学

・惑星科学 (惑星科学会)

・火星環境とその変遷の解明

・宇宙惑星における固体物質の形成と進化

・宇宙すばる望遠鏡による太陽系・惑星科学の成果

・地殻変動地域の衝突関連イベント

・アルマは惑星科学にどのようなブレークスルーをもたらすか

Z その他

・地球温暖化防止のためのCO₂固定とカーボンサイクル

J ジョイント

・宇宙・惑星観測技術 (SGEPSS)

・地球年代学・年代層序学 (地質学会)

・活断層と古地震 (地震学会・地質学会・第四紀学会)

・地球流体力学—地球惑星科学における「不安定とパターン形成」へのアプローチ

・オフィオライトと海洋地殻

・岩石・鉱物・資源

(岩石鉱物鉱床学会・鉱物学会・資源地質学会・地質学会)

・情報地球惑星科学

・惑星地球システムの安定性と不安定性

・惑星圏のリモートセンシング

・地学教育

・巨大地震発生帯の科学

・原生代後期の氷河時代問題：作業仮説、地質学的証拠、生物進化との関連性

・断層帯のレオロジーと地震の発生過程

・海洋底地球科学

・キッチン地球科学—アナログ実験の未来—

・山地流域の水文地質環境と物質循環

・映像でみる地球惑星科学

・ツナミアイトとサイスマイト

・アジア内陸起源の風送ダストの発生・輸送過程と影響

§ 3 個人情報登録

合同大会では、個人情報登録によって、ID番号を取得していただいております。ID番号は各種登録、照会に必要です。登録は無料ですので、「合同大会ホームページ」(§ 1参照)より行って下さい。

●個人情報登録と個人情報 ID 番号

*まだ個人情報登録されていない方(共著者を含む)：
まずは「合同大会ホームページ」の『個人情報登録』にてご登録を行って、「個人情報 ID 番号」を取得して下さい。

*既に個人情報登録をされて ID 番号を取得している方：
ID 番号は今年度も有効ですので再登録は必要ありません。

*所属、身分、Email アドレス等登録内容が変わった方：
『個人情報登録』において個人情報変更を必ず行って下さい。情報が古いままですと重要な大会情報、郵便物がお届けできなくなります。

*ご自分の ID 番号やパスワードを忘れた方：
『個人情報登録』の「各問い合わせ」にアクセスして問い合わせできます。

登録された個人情報は、個人情報 ID 番号によって参照され、参加登録、予稿集原稿投稿に利用されます。この際、講演者だけでなく共著者も個人情報 ID 番号の登録が必要です。共著者の個人情報 ID 番号が登録されていない場合は、予稿集に共著者名が

載らないこととなりますのでご注意ください。共著者がすでに個人情報登録を済ませている場合は、ID番号を「合同大会ホームページ」にて検索できます。

■個人情報登録のために必要な情報：

- ・氏名(漢字, カタカナ, 英語) 姓と名別々に
- ・所属学会(複数選択式)
- ・所属機関名(漢字, カタカナ, 英語)
- ・所属機関名略称(漢字, 英語)(表示用)
- ・所属機関住所(漢字, 英語)
- ・身分(学生, 一般 選択式)
- ・TEL, FAX, E-mail

これらのデータは、次年度以降の合同大会への各種登録の基礎データとして保存される予定です。

§ 4 参加登録, 予稿集原稿投稿(料金)

お申し込みいただいた全ての費用のお支払い方法は「郵便振り込み」です(当日登録は会場にて現金)。参加費, 予稿集原稿投稿費が一括請求されます。Webにてお申込み後, 郵便振り込み用紙が3/末頃までに郵送されます。振込み期限5/2をお守りください。校費扱いにつきましては運営機構事務局へお問い合わせ下さい。

§ 4. 1 参加費用

		受付開始日	受付締切日	料金	方法
事前申込	一般	2003/1/10(金)	2003/3/20(木)	10,000円	Web 申込みのみ
	学生			7,000円	
	一日券		2003/5/2(金)	5,000円	
当日	一般	-	-	12,000円	大会当日直接会場受付にお越し下さい
	一日券	-	-	6,000円	
学部生と70歳(大会当日現在)以上の方(発表をしない場合)		-	-	無料	

§ 4. 2 予稿集原稿投稿(発表申込)費用

		受付開始日	受付締切日	料金	方法
予稿集原稿投稿		2003/1/10(金)	2003/2/14(金)	1,500円	Web 申込みのみ
			2003/2/21(金)	3,000円	
図掲載(希望者のみ)	(基本的に論文と同時に受付)			1,000円	郵送
				500円	Web 申込

§ 4. 3 宿泊について

2003年大会では、運営機構での宿泊予約の受付はありません。専断メッセで開催することで、「(財)ちば国際コンベンションビューロー」の支援を受け、割引対象となる宿泊施設がございます。1月上旬WEB公開予定の宿泊施設紹介ページをご参照ください。

§ 4. 4 取消・変更について

●振込後、参加を取り消されても予稿集原稿登録料の返金はできませんので、予めご了承下さい。

●3/21 事前全日参加登録締切時現在で、請求金額、CD-ROM 予稿集、プログラムの準備数を決定いたします。

CD-ROM 予稿集・プログラム→3/21 現在全日券登録者全員に送付名札→上記のうち5/2までに請求金額全額入金確認者のみ送付未入金者は当日渡し

項目	受付期間	変更	取消	連絡方法	対応・備考
予稿集原稿投稿	2003/2/21(金) 17:00 まで (投稿最終締切日)	○	○	Web	-
	2003/2/22(土)以降	×	×	-	投稿料は課金(CD-ROM 作成開始のため)
大会参加登録*1	2003/5/2(金) 17:00 まで (振込締切日・事前一日券登録締切日)	○*2	○	Email 又は FAX *4	*2 「事前全日」→「事前一日」 「事前一日」→「事前全日」 双方変更可能 差額は当日精算
	2003/5/3(土)以降	○*3	×		*3 「事前一日」→「事前全日」のみ変更可能 差額は当日精算

*4 変更取消連絡先：FAX:03-5800-6839 Email
ご連絡時は個人情報 ID 番号もお知らせ下さい。

§ 5 運営機構からのお知らせ

§ 5. 1 運営機構ホームページのご案内

運営機構のホームページを立ち上げております。運営機構のことだけでなく、2003年合同大会のお知らせ、準備状況、各学会へのリンク、地球惑星科学関連の専攻、学科、研究所へのリンク、連絡会のお知らせ、等を掲載していきます。

URL <http://www.epsu.jp/>

§ 5. 2 参加費についてのお願ひ

本年度から幕張メッセに会場を移すため、合同大会の会計は昨年度までにくらべ 厳しい状況におかれることが予想されます。健全な財政を維持し、皆様の参加費を来年度以降もなるべく低い水準に維持するため、以下の事をお願いしたいと思います。

- (1) 参加費の請求書が送付されましたら、期限までに必ずお支払いください。名札が郵送されますので必ずそれを付けて会場にお入りください。
- (2) 当日お支払いの方、一日参加の方は、まず受付にお立ち寄りになり、精算を済ませた上で名札を受け取って参加してください。
- (3) 名札を付けずに会場に入られた方には理由をお伺いする場合があります。
- (4) 事前全日登録をされてキャンセルの手続きを5/2までに行わず、参加費を払い込まずに運営機構に連絡なく参加されなかった方にも今年からは参加費を請求させていただきます。請求は大会後なされます。この場合、事務手数料3000円が加算されて請求がされますので、どうぞご注意ください。

参加費をお支払いになって大会に参加されている方々の権利を守るため、本年度から上記の措置をとらせていただきます。参加される皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

§ 5. 3 合同大会当日の受付時間について

合同大会期間中の受け付け時間、場所は以下の通りに開設する予定です。

■ 当日総合受付 ■

5/26 (月) ~ 29 (木) AM 8:30 ~ PM 3:00 (予定)

1F 受付カウンター

(参加登録・予稿集原稿 CD-ROM 販売・各種案内)

§ 5. 4 団体展示・書籍出版展示

合同大会では、2F 中央ロビー及びホワイエにて、研究団体・企業・出版社などによる研究紹介・書籍・機器などの展示ブースを設けております。様々な形で自由にご利用頂き、有効な情報交換の場としてご活用ください。ご利用希望の方は、事務局へご連絡下さい。詳細(申し込み要綱)をご案内いたします。尚、お申し込みは2月末日(最終締切)まで、スペースに限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。詳細は、後日ホームページにてご案内します。

§ 5. 5 合同大会会場における会合申込み

会合・集会を行う団体の部屋使用希望の申し込みは、下記の通りで受付いたします。実際の部屋割りは、プログラム日程決定後3/1以降、先着順にいたします。会場内の部屋数に限りがございますので、満室になった場合は、できる限り会場周辺の会期施設をご紹介させていただきますが、やむを得ず、ご希望に添えない

場合があります。ご了承ください。

尚、部屋使用料金、お弁当等の詳細はHP「会合のお申込」をご覧ください。

■ お申し込み受付 ■

2003/2/17 (月) - 5/2 (金)

■ お申し込み先 ■

運営機構総務局 2003 年会合係 (E-mail: meet@epsu.jp)

■ お申し込み内容 ■

- 1) 会合名称
- 2) 申込み責任者とそのメールアドレス
- 3) 使用人数
- 4) 希望する時間 (開始・終了時刻)
- 5) 食事の希望有無 (有の場合は弁当数)

§ 5. 6 2003 年合同大会運営機構組織構成と連絡先

★大会委員長 清水 洋> 広島大・理

<<運営機構>>

代表 浜野洋三> 東大・理・地感

★財務局

中村正人> 2003 年担当責任者 宇宙研

木村 学> 東大・理・地感

志茂久男> 国土地理院

佐倉保夫> 千葉大・理・地球

綱川秀夫> 東工大・理工・地感

渡辺誠一郎> 名大・理・地感

★企画局

大村善治> 2003 年担当責任者 京大・宙空電波研

木村学> 東大・理・地感

安藤雅孝> 名大・理・地震観測センター

浦辺徹郎> 東大・理・地感

大谷栄治> 東北大・理・地球物質

末広深> 海洋科学技術センター

深尾良夫> 東大・地震研

丸山茂徳> 東工大・理工・地感

安原正也> 地質調査所

ロバート・ゲラー> 東大・理・地感

★情報局

竹内 希> 2003 年担当責任者 東大・地震研

坪井誠二> 海洋科学技術センター

宮本英昭> 東大・工・地球システム

田近英一> 東大・理・地感

大村善治> 京大・宙空電波研

倉本 圭> 北大・理・地感

林 祥介> 北大・理・地感

古屋正人> 東大・地震研

塚本尚義> 東工大・地感

★総務局

岩上直幹> 2003 年担当責任者 東大・理・地感

石橋純一郎> 九大・理・地感

沖野郷子> 東大・海洋研
中村美千彦> 東北大・理
浜野洋三> 東大・理・地感
松浦充宏> 東大・理・地感
湯元清文> 九大・理・地感
渡部重十> 北大・理・地感

★プログラム局

原 辰彦> 2003年担当責任者 建築研
吉田尚弘> 東工大・総合理工
岩森 光> 東大・理・地感
阿部 豊> 東大・理・地感
小野高幸> 東北大・理
安藤寿男> 茨城大
多田隆治> 東大・理・地感
中嶋 悟> 東工大・理工・理学研究流動機構
村江達士> 九大・理・地感
近藤忠> 東北大・理
渡辺誠一郎> 名大・理・地感

<<共催学会選出プログラム委員>>

★ 日本測地学会

古屋正人> 東大・地震研 , 松本晃治> 国立天文台・水沢

★ 資源地質学会

加藤泰浩> 東大 , 今井亮> 東大・理

★ 日本地質学会

七山太> 産総研 , 久田健一郎> 筑波大

★ 日本火山学会

金子隆之> 東大・地震研 , 下司信夫> 産総研

★ 地球電磁気・地球惑星圏学会

綱川秀夫> 東工大 , 早川基> 宇宙研

★ 日本岩石鉱物鉱床学会

榎並正樹> 名古屋大 , 廣井美邦> 千葉大

★ 日本第四紀学会

宮内崇裕> 千葉大 , 鈴木毅彦> 東京都立大

★ 日本惑星科学会

並木則行> 九州大 , はしもとじょーじ> 宇宙研

★ 日本地球化学会

鈴木勝彦> 京都大 , 角皆潤> 北海道大

★ 日本鉱物学会

塚本尚義> 東工大 , 三河内岳> 東大

★ 日本地震学会

鷲谷威> 国土地理院 , 岡元太郎> 東工大

★ 日本地下水学会

丸井敦尚> 産総研 , 林武司> 産総研

★ 日本水文科学会

杉田倫明> 筑波大 , 高橋正明> 産総研

(以上学会五十音順敬称略)

[2] みなさまが主催する IUGG2003 札幌総会 「この惑星の今—未来への挑戦」

2003年6月30日(月) — 7月11日(金)

1. いますぐ参加の手続きを済ませましょう。

<http://www.jamstec.go.jp/jamstec/iugg/index.html> にアクセス。個人情報を入力して、ご自分の ID 番号とパスワードを取得してください。この ID 番号とパスワードを使ってアブストラクト (一人3編まで) を投稿してください。セッションは、Internet あるいはセカンドサーキュラーをご覧ください。

アブストラクトの締切まで、あと2ヶ月! 電子版2003年1月30日(郵送は1月20日)

2. つぎは、登録(登録費のお支払い)です。

オンライン登録が便利です(12月下旬スタート予定)。登録料は、3月末日、5月末日を期して増加します。

3月末まで(若手・学生 27000円/普通 42000円)

5月末まで(若手・学生 30000円/普通 50000円)

6月以降(若手・学生 33000円/普通 55000円)

同伴者(科学プログラム以外の行事に参加できる)は、10000円です。くわしくは、Internet、サーキュラーをご覧ください。

3. 日本初の IUGG 札幌総会は、世界へ研究発信する、国際交流を深める、そして、地球惑星科学の動向を国内に周知し、社会との絆を強める大きなチャンスです。主催者のみなさまからの積極的な声をお待ちします。それぞれの学会において募金活動が展開されています。みなさまからのご寄付は、世界中の若手研究者の参加の機会を広げ、総会成功の大きな貢献となります。総会に参加できない方も、寄付という形で参加が可能ですので、できるだけのご支援をお願いします。(お問い合わせは IUGG_service@jamstec.go.jp まで)

(組織委員会総務幹事:末廣 潔)

[3] 第13回ゴールドシュミット国際会議 (Goldschmidt 2003) 日本開催のお知らせ (その3)

—Second Circular の発行—

会議名 : 第13回ゴールドシュミット国際会議(Goldschmidt 2003)
開催時期 : 2003年9月7日(日)~12日(金)
開催場所 : くらしき作陽大学(倉敷市)
主催 : The Geochemical Society (国際地球化学会)、The European Association of Geochemistry (欧州地球化学連合)、The Mineralogical Society of America (米国鉱物学会)、日本地球化学会
後援 : (独立行政法人)産業技術総合研究所、(学校法人)くらしき作陽大学、倉敷市、岡山県
学協会後援 : 20学協会(名称略)
会議の規模 : 参加者約800名、発表論文数約650件(口頭およびポスター)、特別講演、企業展示、パンケット、エクスカージョン

ゴールドシュミット国際会議は、General Sessions と Special Symposia から構成されますが、11月現在、60件を超えるシンポジウムの提案をいただいております。論文発表と参加申し込みに関する詳細は、1月上旬に会議ホームページ (<http://www.ics-inc.co.jp/gold2003/>) に掲載予定の Second Circular をご覧ください。ホームページで氏名と連絡先を登録していただくと、今後の情報を e-mail でお送りいたします。

登録料には、早期登録割引に加えて、主催学会の会員割引制度を用意いたします。この機会に、主催学会への入会をお勧めいたします。詳細は、各学会ホームページ、あるいは Second Circular をご覧ください。

当国際会議では、学生の参加を促すために、論文を発表する学生に対する財政補助を行います。また、経済的困難さを持つ国や地域から参加する若手研究者にも財政補助を行います。詳細は Second Circular をご覧ください。

今後の主なスケジュール

2003年1月上旬	Second Circular の発行 (website)、論文募集・事前登録開始
5月5日	講演申込および Abstracts の締め切り
7月7日	事前登録の締め切り
9月7~12日	第13回 Goldschmidt Conference (倉敷)

Website: <http://www.ics-inc.co.jp/gold2003/>

E-mail:

(第13回ゴールドシュミット国際会議組織委員会委員長 松久幸敬)

(連絡先) 第13回ゴールドシュミット国際会議組織委員会事務局

〒305-8567 つくば市東1-1-1 中央第7 産業技術総合研究所 地球科学情報研究部門 富樫茂子 気付

Tel: 0298-61-3940, Fax: 0298-61-3748, E-mail:

[4] 第26回地球惑星科学関連学会連絡会議事録(案)

日時: 2002年9月20日(金) 15:00~17:00

場所: 東京大学理学部5号館4階403号室

出席者:

青木元(地震学会)、安藤寿男(運営機構)、伊東純一(代理、IUGG)、浦辺徹郎(資源地質学会)、鍵裕之(地球化学会)、掛川武(岩石鉱物鉱床学会)、志茂久男(測地学会)、徐垣(代理、地質学会)、鈴木毅彦(第四期学会)、鈴木裕一(水文科学会)、倉本圭(惑星科学会)、清水洋(地球化学会、連絡会会長)、竹内希(運営機構)、谷上美穂子(運営機構)、綱川秀夫(電磁気・惑星圏学会)、中田節也(火山学会)、中村正人(運営機構)、浜野洋三(運営機構)、早川基(電磁気・惑星圏学会)、林武司(地下水学会)、原辰彦(運

営機構)、平林順一(火山学会)、町田功(代理、水文・水資源学会)、水谷仁(惑星科学会)、山野誠(地震学会)、坂本尚義(鉱物学会) 以上26名

配付資料:

1. 議事次第
2. 2002年度地球惑星科学関連学会長懇談会(拡大連絡会)議事録案
3. 2003年合同大会に関する資料
4. IUGG2003年札幌総会に関する資料
5. 2003V. M. Goldschmidt Conferenceに関する資料

議事

1. 前回議事録確認 (清水連絡会会長)

2002年度地球惑星科学関連学会長懇談会(拡大連絡会、5月30日開催)議事録について、(案)の通り承認された

2. 地球惑星科学関連学会 2002年合同大会決算報告

(運営機構: 中村氏)

運営機構事務局(中村)から2002年合同大会決算報告があった。前年度からの繰り越しをいれない2002年度の単年度では、5,620,745円の黒字となった。ただし、これには学術情報センター、連絡会からの移算による収入(1,885,773円及び2,912,038円)が含まれており、これらの収入は今年度限りである。2003年度大会への繰越金は14,382,561円で、この内7,912,038円は合同大会連絡会準備金(2001年度5,000,000円、2002年度2,912,038円の合計)である。

ついで、連絡会会計幹事(鈴木毅彦)から、9月3日(火)に運営機構事務局(東京大学内)において決算報告書の監査を行い、予算の執行、帳簿・記票の整理等、正常適正に処理されていることを確認した旨が報告された。

(2002年合同大会決算報告書は、2002年8月発行のニュース(No.25)に掲載済)。

3. 地球惑星科学関連学会 2003年合同大会の準備状況

(運営機構代表: 濱野)

(1) 2003年合同大会の準備状況について配付資料に基づいて説明がされた。

オリンピック記念青少年総合センターでは例年並みの会場数を確保することができなかった。また、会場の用途(具体的にはポスター会場)に制限が加わる可能性が高い。

(2) 必要となる会場数を条件として会場を探索した。

幕張メッセ、東京国際フォーラム、海外職業訓練会館、一ツ橋ホール、学生会館などが検討の対象となった。同一の場所でポスター会場を設定でき十分な会場数を確保できるのは幕張メッセであった。

(3) 以下の変更が濱野代表から提案された。

①会場を幕張メッセに変更する。

②当初の日程を変更して幕張メッセで5月26日から29日に開催。

③大会参加費のうち投稿料、当日参加登録費は変更せず、事前登録料を一般10000円、学生7000円、一日券5000円に値上げする。

④コンベンションホールの半分をポスター会場に、残りの半分を大会場とする。

⑤幕張メッセを会場とする場合のメリットとして、ポスター会場はスペースを十分にとることができ、明るさも申し分ない。展示は20ブース程度を想定し、販売活動も可能である。数年先の日程の予約が可能である点もメリットである。

(4) 運営機構案に対する質疑等

①昨年度以前の登録費との比較ならびに収支見直し、②一般会

員にとってのメリット、③学生のための安価な宿泊施設の恒久的な確保の要望。

(5) 会場、日程、事前登録料の変更を含む2003年合同大会についての運営機構案が了承された。

(6) 各学会に2003年合同大会についての報告と参加の奨励が依頼された。

(7) 来年度は単年度ベースで100万円程度の赤字を計上する可能性があるが、各学会に負担を要請することはないことが確認された。

4. 2004年以降の合同大会の運営方法について(清水連絡会会長(提案)合同大会の大会委員長は、地球惑星科学関連学会連絡会会長が兼ねる。

(提案の趣旨) 連絡会・各学会と運営機構との連携をさらに密接にして、合同大会を充実させる。

上記提案を承認した。

5. IUGG、Goldschmidt Conf.等準備報告

(1) IUGG(2003.6.30-7.11)(IUGG事務局、伊東純一)開催に向けての準備状況が報告された。

(2) Goldschmidt Conference 2003(2003.9.7-11)

(清水連絡会会長)

開催に向けての準備状況が報告された。あわせて2002年8月にダボス(スイス)で開催されたGoldschmidt Conference 2002についても報告された。

6. 各学会の2002-2003年度の年会・講演会等の情報交換を行った。

7. その他

(1) 運営機構へ感謝状を連絡会から送った旨、浦辺前会長から報告された。この件について了承された。

(2) 合同大会の共催・協賛について次のことが確認された: 合同学会の協賛学会になるためには連絡会長にその旨を知らせる。学会への経済的な負担はない。

(3) 次回は5月28日(水)幕張メッセを第一候補として日程を調整する予定。

地球惑星科学関連学会連絡会ニュース 第27号
2002年12月6日発行

発行: 地球惑星科学関連学会連絡会

連絡会会長 清水 洋

編集: 地球惑星科学関連学会連絡会

連絡会幹事会ニュースレター担当 青木元